2027 年度(令和 9 年度)

愛知学泉大学

外国人留学生入学試験

学生募集要項

家政学部

管理栄養学科

ライフスタイル学科

こどもの生活学科

■ 建学の精神･教育目標

目的

本学の目的は「建学の精神」の実践を通して、創立者が目指した経済的・政治的・文化的に自律できる社会人を育成することによって、地域と国際社会に貢献することである。

建学の精神

宇宙の中の一つの生命体である人が、個人として自律しつつありとあらゆる生命体と共生することによって、生きる意志と生きる力と生きる歓びに満ち溢れた鵬のような大局的な存在となることである。

教育目標

本学の教育目標は、社会的に自律して生きていく上で必要な①スキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能、②職業に関する専門的知識・技能、③建学の精神・社会人基礎力・ｐｉｓａ型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けて、地域及び国際社会に貢献する社会人を育成することである。

教育方針

本学は、「智・徳・体・感・行」に基づいた 3 つの挑戦プログラムから構成される自学・共学システムを開発し、これに基づいて教育を行う。

家政学部教育目標

「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践を通して社会的に自律して生きていく上で必要な①スキル・リテラシー・教養等に関する一般知識・技能と②家政に関する専門的知識・技能と③建学の精神・社会人基礎力・pisa 型学力を統合的に身に付け、社会に出てからは、これらの知識・技能をベースに生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域の課題解決に貢献できる人材を育成する。

募集人員

学部	学科	募集人員
家政学部	ライフスタイル学科	若干名
	管理栄養学科	若干名
	こどもの生活学科	若干名

出願資格

1. 外国籍を有する者。
2. 外国において学校教育における 12 年間の課程を修了した者。また、12 年間の課程のうち日本の学校教育法に基づく高等学校に在学した期間が 3 年以内である場合も資格があります。
   また、これと同等以上の学力があると本学が認めた者。
3. 日本国内で大学に入学できる資格を持っている者が在留資格を有し、入学後『留学』の在留資格に更新できる者。
4. 本学に入学後の学費、生活費等が確実に支弁できる者。
5. 日本語能力検定試験 2 級程度と認められ、大学生活を送るのに十分な日本語能力を有する者。
6. 確実な身元保証人がいること。この身元保証人は日本国内に居住し、本学の学業と一身上に関する一切の責任を負うことができる者。

※**出願資格**に関して、ご不明な点がある場合は学生募集室までお問い合わせください。

選抜方法

小論文（日本語）と面接による総合判定。※試験日には「保証人面談」も実施いたします。

入試日程

出願期間 ※必要書類郵送締切日消印有効	試験日	合格発表	第 1 回入学手続	第 2 回入学手続
2027 年 1 月 5 日(火)～1 月 21 日(木)	2027 年 1 月 27 日(水)	2027 年 2 月 5 日(金)	2027 年 2 月 15 日(月)	2027 年 3 月 5 日(金)

試験会場

本学（岡崎キャンパス）

試験時間

試験室入室開始	着席完了	小論文（日本語）	面接
9:00～	9:50	10:00～11:00（60 分）	11:20～

※保証人面談も同日に実施

出願について（インターネットから行ってください）

STEP 1　事前準備

①出願登録環境

インターネットに接続可能なパソコン、スマートフォンまたはタブレットおよび、用意した機器から接続できるプリンター。プリンターが自宅にない場合、日本国内のコンビニエンスストア（以下「コンビニ」）のマルチコピー機でも印刷が可能です。
また、インターネットの環境がない場合は、学生募集室までご連絡ください。
学生募集室　℡　0564-34-1215（直通）
平日9：00～17：00　（土・日・祝は対応不可）

②出願サイトに登録する「メールアドレス」および「顔写真（データ）」

・普段から連絡の取りやすいメールアドレス

登録したメールアドレスに「登録完了」の通知が送信されます。
送信を受け取れるようにメール受信設定を行ってください。

・試験時の本人確認に使う顔写真データ

「顔写真」（データ）は3ヵ月以内に撮影した上半身・正面・無帽・背景なしのもの。また、服装は制服・私服はどちらでも良いです。

③「郵送用封筒」

・郵送用封筒は市販の「角２」サイズ（240㎜×332㎜くらいの大きさ）のものを用意してください。

STEP 2　出願サイトにアクセス

本学ホームページ「入試情報」から「Net出願」へアクセスしてください。
コチラ　QRコードからも可能➡

STEP 3　マイページをつくる　※出願時に登録することも可能です。

①メールアドレスを登録

・登録したいメールアドレスを画面の指示に従って入力して送信します。送られてきたメールのリンクから登録ページへ移動してください。
・登録には**パスワード**も必要です。忘れないパスワードを用意してください。受験票などを印刷する際に必要になります。

②顔写真データおよび基本情報を登録

マイページにログイン後、顔写真データおよび基本情報（氏名、生年月日、出身校等）の事前登録してください。

STEP 4　出願内容を入力

①志望内容等を入力

受験する入試種別、志望する学科、試験会場等を画面に沿って選択してください。

②個人情報を入力

基本情報のほか画面に表示される項目を入力してください。顔写真と基本情報を登録済みの場合、その情報が表示されます。入試結果をお知らせする住所・氏名は正確に入力・確認してください。表示された情報を修正・変更することができます。

③出願内容を確認

ここまで入力した内容を確認します。入学検定料支払い後は入力したデータの変更はできません。
間違いの無いよう十分確認してください。

STEP 5　入学検定料の支払い

入学検定料　35,000円

振込まれた入学検定料は、いかなる理由でも返還することはできません。

①支払い方法を選択

入学検定料の支払いは以下のいずれかで行ってください。

クレジットカード、コンビニ（注意）、ペイジー（金融機関ＡＴＭ／ネットバンキング）

※支払いには入学検定料のほか別途支払手数料が必要です。支払い方法によって手数料が異なりますので、入学検定料と合わせて支払い金額を確認してください。

②入学検定料を支払う

「**クレジットカード**」で支払う・・・支払い方法を選択する画面で必要な情報を入力して決済してください。出願登録完了時に同時に決済されます。

「**コンビニ**」で支払う・・・出願登録完了画面で「お支払番号」等が画面およびメールで通知されます。選択したコンビニで支払いをしてください。

（**注意**）海外に居住の方は利用できません。日本国内にあるコンビニのみ手続きができます。また、コンビニの機械の画面は日本語にしか対応していません。

「**ペイジー（金融機関ＡＴＭ／ネットバンキング）**」で支払う・・・

出願登録完了画面で「お支払番号」等が画面およびメールで通知されます。選択した方法で支払いをしてください。

コンビニまたはペイジーを選択した場合、支払い期限はお申込み後翌々日の２３：５９までとなります。
支払い期限を過ぎてしまった場合は、再度出願登録をやり直してください。
なお出願期間最終日は当日の２３：５９までとなります。支払い期限までに支払いを済ませてください。

支払い完了後、支払完了を通知するメールが届きます。内容を必ず確認してください。

STEP 6　出願内容を登録

入力した出願内容および支払い方法を確認し、**登録ボタン**を押して出願内容を登録します。同時に「出願登録完了メール」が送信されます。入学検定料の支払い方法がコンビニまたはペイジーの場合、「お支払番号」等が出願登録完了画面および申込完了メールに表示されます。

STEP 7　出願書類を郵送

①志願票・宛名ラベルを印刷

入学検定料の支払い完了後、マイページから「**志願票・宛名ラベル**」を取得して印刷してください。

自宅にプリンターがない場合は、コンビニ（日本国内のみ対応）でも印刷することができます。

その場合は、**マイページ**にて

入学志願票をプリント予約する　→　「店舗選択画面」で印刷するコンビニを選択　→　利用規約に同意にチェック　→　プリント予約する書類の選択　→　予約完了画面「プリント予約番号」　→　控えた番号を予約したコンビニ店舗の端末に入力　→　印刷

の手順で行ってください。

②出願書類を郵送

事前に用意した角２封筒に印刷した**宛名ラベルに貼付**してください。

【出願書類】　　**※よく確認をしてください。**

1.**入学志願票（出力したもの）**

2.**留学生調査書〈様式１〉**

本学ホームページから本学所定用紙をダウンロードし、自筆で丁寧に記入してください。

2.**最終学歴の成績証明書及び卒業証明書**

・最終学歴、全ての成績証明書及び卒業証明書が必要です。

・出願時に大学（または大学に準する教育機関）に在学中の場合は、在学証明書も提出してください。

・大学または大学院を卒業して学位を授与されている者は、学位記の写しを提出してください。

・成績証明書は高等学校から最終学歴までの、在籍した全ての学年の成績が記載されたものを提出してください。

・成績証明書や卒業証明書の原本やコピーは受付いたしません。必ず、証明書またはCertified true copy（原本から正しく複製されたものであること、出身学校または公的機関によって証明されたコピー、中国の場合は公証書等）を提出してください。

・各証明書は、日本語または英語で作成されたものを提出してください。
日本語または英語の証明書を提出できない場合は、公的機関で承認を受けた日本語または英語の訳文を添付してください。なお、上記書類が願書受付期間に整わない場合には、その旨を書いた理由書（様式自由）を添付してください。

3.**入学志望理由書〈様式2〉**

本学ホームページから本学所定用紙をダウンロードし、自筆で丁寧に記入してください（日本語で記入）。

4.**日本語能力認定書〈様式3〉**

本学ホームページから本学所定用紙をダウンロードし、日本語講師及び、日本政府在外公務員または認定書作成に適格と思われる方に依頼し、厳封にて提出してください。

5.**在留カードの写し**

居住する市町村役場で発行される在留カードの写しを提出してください。
ただし、外国に居住している人は不要です。

6.**パスポート査証（ビザ）の写し**

「氏名、パスポート番号の記載されたページ及び写真の貼ってあるページ」と「有効な査証（ビザ）が記載されているページ」をコピーし、提出してください。

7.**誓約書〈様式４〉**

本学ホームページから本学所定用紙をダウンロードし、保証人になってくださる方へ記入してもらってください。

上記書類を同封し、必ず**速達・簡易書留で郵便局窓口**から発送してください。提出書類に不備・不足があった場合は受け付けない場合もあります。提出前に必ず確認してください。
また、提出書類の提出期限は、出願期間最終日の消印有効で受付いたします。期日に間に合うように、郵送または岡崎キャンパスまで持参してください。持参する場合は平日9時から17時まで窓口にて受付いたします（土・日・祝は対応不可）。

STEP 8　受験票を印刷

出願書類が受理されると、受験票が発行された旨がメールおよびマイページに通知されます。
マイページから**「受験票」を取得して印刷**してください。
自宅にプリンターがない場合は、STEP７①の入学志願票の印刷と同様の手続きを行い、コンビニ（日本国内のみ対応）で印刷してください。
試験当日は印刷した受験票を必ず持参してください。
受験票は本学から郵送しません。

試験当日の注意事項

1. 受験票で指定した試験会場以外での受験はできません。
2. 受験票は各自で印刷し、試験当日必ず持参してください。
3. 試験室の**入室開始は午前 9 時から**です。**試験開始は 10 時**となりますので **10 分前に着席を完了**してください。
4. 試験開始 20 分を経過した後の試験室への入室は認めません。係員の指示に従ってください。
5. **受験票**のほかに試験時間中、机の上に置けるものは「黒鉛筆（ＨＢ以上）もしくはシャープペンシル（ＨＢ以上)」「消しゴム」「鉛筆削り（電動式を除く)」「時計（スマートフォン・携帯電話・腕時計型端末・ＰＨＳ等は不可)」「眼鏡」です。
6. 「ハンカチ」「ティッシュペーパー」「座布団」「防寒具（ひざ掛け等)」「目薬」の使用を希望する場合には、試験前に係員に申し出て、許可を得てから使用してください。
7. スマートフォン・携帯電話・腕時計型端末・ＰＨＳ等を所有している受験生は**試験室に入る前にアラームの設定を解除**（アラームは設定を解除しないと電源を切っても鳴り出すことがあるので注意してください）し、**必ず電源を切ってかばん等に入れてください。**また、マナーモードに設定している場合でも、必ず電源を切ってください。
8. 試験中にかばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合は、試験監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験実施本部で当該試験終了後まで保管します。
9. 試験中の「マスクの着用」を認めます。本人確認のため写真照合を行う際は、一時的にマスクをはずしてください。
10. 受験に関して不正行為があった場合は、その時点以降の受験はできません。また、受験した部分についても無効になります。
11. 試験時間終了前の退室は原則として認めません。
12. 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。
13. 昼食を必要する受験生は、各自で用意してください。（学生食堂は営業していません。）
14. 保証人面談も同日に実施いたします。受験生と一緒にお越しください。

その他の注意事項

・試験前日は試験会場内に立ち入ることはできません。

・本学ホームページで入試に関する最新情報を更新しています。バスダイヤなど、ご確認ください。

留学生の保証人になってくださる方へ

愛知学泉大学では、留学生の保証人の方へ以下のことをお願いしています。趣旨をご理解の上、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

1.受験時の同伴のお願い

本学では入学試験当日、保証人の方に受験生に付き添って試験場へお越しいただきます。

当日は、受験生本人が入学後よりよい学生生活を送るために具体的な保証の確認の話し合いをさせていただきます。

2.生活面での支援

留学生が有意義な 4 年間を過ごすためには、保証人の力添えが不可欠です。生活習慣や文化の異なる日本での生活の援助と支援をお願いします。

3.学業面での支援

学業継続に関する困難な問題が発生した場合、大学と協力し共に援助・支援をいただきますようお願いいたします。

合格発表･入学手続･学納金等について

合格発表

・合格発表日にインターネットにて確認することができます。インターネットによる合否案内は下記【合格発表照会方法】を参照してください。

・合格者または保証人に対して、合格発表日に速達で結果通知書及び入学手続書類を郵送します。

国外への通知は原則行いません。

・不合格者には結果通知書等の送付は行いません。

・電話による合否の問い合わせには一切応じません。

【合格発表照会方法】

１．パソコン・スマートフォンで合否照会ページにアクセス

下記 URL を入力するか、QR コードで読み取りしてください。

https://go-pass.net/mche/gakusen/

２．受験番号（6 桁）と誕生月日（4 桁）を入力

３．入試結果画面にて合否が表示されます。

※合否照会サービスの利用期間：合格発表日から 7 日間

（注意事項）

・利用期間は試験ごとに定めてあり、期間外には見ることはできません。

・サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間をおいてからアクセスしてください。

・パソコン・スマートフォンの性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。

・パソコン・スマートフォンのブラウザの設定によっては、画面のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。

入学手続

入学手続きには、**①第 1 回入学手続 ②第 2 回入学手続 ③入学手続書類提出**があります。合格者は、入学手続き関係書類をよく読み、**各手続きをそれぞれ所定の期日まで**に行ってください。

すべての手続きが終了して、入学手続きの完了となります。

納入金

学部	学科	第 1 回入学手続	第 2 回入学手続
家政学部	ライフスタイル学科	１５０，０００円	４４２，４１０円
	管理栄養学科		４６６，９１０円
	こどもの生活学科		４５２，４１０円

入学手続上の注意

1. 入学手続きは、所定の振込用紙（合格通知に同封）を使用し、最寄の金融機関（ゆうちょ銀行を除く）より電信扱いで振込む、または**ネットバンキングで振込んでください。ATMでは振込むことはできません。**
2. 振込用紙の**振込人欄には受験生本人の氏名を記入してください。**
3. 入学手続金の振込みが**所定の期日までに完了しない場合は、入学辞退と判断し、入学が許可されません**ので注意してください。
4. 入学手続金は、一括で納入することも可能です。その場合は第１回入学手続締切日が期日となります。
5. 入学手続完了者のうち、2027 年3 月31 日（水）正午までに「入学辞退」を申し出た場合は、「入学金」以外の納入費用を返還します。
6. 合格した場合でも、本学が入学不適切と認めた場合は、合格後に入学を取り消す場合があります。

学費等の減免

外国人留学生に対して**「安城学園私費外国人留学生学費減免規定」**により、**授業料及び教育充実費の30%が減免**されます。

学納金については、次の一覧表通りです。金額は変更することもあります。

学納金･委託徴収費

（単位：円）

内訳明細			入学時		1 年次後期	
			外国人留学生	日本人学生	外国人留学生	日本人学生
学納金	入学金		150,000	150,000	―	―
	授業料		※267,750	382,500	※267,750	382,500
	教育充実費		※136,500	195,000	※136,500	195,000
	実験実習費	ライフスタイル学科	25,000	25,000	―	―
		管理栄養学科	50,000	50,000	―	―
	実習費	こどもの生活学科	35,000	35,000	―	―
委託徴収費	学生会費		8,500	8,500	―	―
	学生教育研究災害保険		3,300	3,300	―	―
	学生教育研究賠償責任保険		1,360	1,360	―	―
合計		ライフスタイル学科	592,410	765,660	404,250	577,500
		管理栄養学科	617,410	790,660		
		こどもの生活学科	602,410	775,660		

※授業料、教育充実費を 30％減免

※諸会費（教育後援会費・後援会費）については、入学後にご案内いたします。

学費以外に入学後必要な費用等

下記の資格・免許の取得を希望する者は、別途課程履修費・資格取得申請料などが必要となります。

学科	取得資格・免許等
ライフスタイル学科	中学校教諭一種免許状（家庭）、高等学校教諭一種免許状（家庭）スポーツ・インストラクター、色彩検定、商品プランナー、商品装飾展示士
管理栄養学科	管理栄養士国家試験受験資格、栄養士免許、栄養教諭一種免許状、NR・サプリメントアドバイザー、健康運動実践指導者、商品プランナー
こどもの生活学科	スポーツ・インストラクター、おもちゃインストラクター

下宿先について

学生課へご相談ください。

TEL：0564 - 34 - 1214

愛知学泉大学　家政学部
ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー

○ディプロマ・ポリシー

愛知学泉大学のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

(1) 本学の教育目標と教育方針の下に建学の精神を実践している。
(2) 社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。
(3) 社会的に自律して生きていく上で必要な職業に関する専門的知識・技能を身に付けている。
(4) 社会的に自律して生きていく上で必要な四大精神・社会人基礎力・pisa 型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けている。
(5) AI を活用して課題を解決することができる。
(6) 生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会に貢献できる。

愛知学泉大学家政学部のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

(1) 本学の教育目標と教育方針の下に建学の精神を実践している。
(2) 社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。
(3) 社会的に自律して生きていく上で必要な家政に関する専門的知識・技能を身に付けている。
(4) 社会的に自律して生きていく上で必要な四大精神・社会人基礎力・pisa 型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けている。
(5) AI を活用して課題を解決することができる。
(6) 生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。

ライフスタイル学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

(1) 本学の教育目標と教育方針の下に建学の精神を実践している。
(2) 社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。
(3) 社会的に自律して生きていく上で必要なライフスタイルのデザインに関する専門的知識・技能を身に付けている。
(4) 人々の日常生活を衣・食・住および地域活性の面から支援することができる。
(5) 社会的に自律して生きていく上で必要な四大精神・社会人基礎力・pisa 型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けている。
(6) AI を活用して課題を解決することができる。
(7) 生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。

管理栄養学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

(1) 本学の教育目標と教育方針の下に建学の精神を実践している。
(2) 社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。
(3) 社会的に自律して生きていく上で必要な管理栄養士に関する専門的知識・技能を身に付けている。
(4) 人々の日常生活を健康の面から支援することができる。
(5) 社会的に自律して生きていく上で必要な四大精神・社会人基礎力・pisa 型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けている。
(6) AI を活用して課題を解決することができる。
(7) 生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。

こどもの生活学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

(1) 本学の教育目標と教育方針の下に建学の精神を実践している。
(2) 社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付けている。
(3) 社会的に自律して生きていく上で必要な保育士・幼稚園教諭・小学校教諭に関する専門的知識・技能を身に付けている。
(4) 人々の日常生活を子育ての面から支援することができる。
(5) 社会的に自律して生きていく上で必要な四大精神・社会人基礎力・pisa 型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けている。
(6) AI を活用して課題を解決することができる。
(7) 生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる。

○アドミッション・ポリシー

ライフスタイル学科のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

ライフスタイル学科では、以下の5つの中の3つ以上に該当する人を求めています。
(1) 暮らしに関わる様々な事象に強い関心を抱いている。
(2) より良い生活のあり方を提案しうる能力を持った生活者として社会に貢献したいという意欲を持っている。
(3) 衣・食・住のエキスパートとして社会に貢献したいという意欲を持っている。
(4) 地域活性のエキスパートとして社会に貢献したいという意欲を持っている。
(5) 中学・高校の家庭科教員として主体的に学び続ける生徒を育成したいという意欲を持っている。
そこで、次に掲げる人を積極的に受け入れます。

(A) 学力の3要素
(A-1) 基礎的・基本的な知識・技能について
家庭、国語、数学、生物・化学、地歴・公民に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身に付けている。
(A-2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について
①（思考力）
日常の生活の中から問題を発見し、その問題の原因を分析することができる。
②（判断力）
他者の考えも尊重し、自分の考えと合わせて課題を見出すことができる。
③（表現力）
適切な表現方法を選択し、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。
(A-3) 主体的に学習に取り組む態度について
粘り強く取り組むだけでなく、自分の理解度を把握した上で、どうやったら学習の成果が現れるか試行錯誤する姿勢を持っている。
(B) 行動特性について
①（前に踏み出す力）
主　体　性…自ら成すべきことを考え、積極的に取り組むことができる。
実　行　力…自分の定めた目標に向かって粘り強く取り組むことができる。
②（考え抜く力）
課題発見力…目標を達成するために取り組まなければならない課題を見出すことができる。
創　造　力…身につけた知識・技能を最大限に発揮することができる。
③（チームで働く力）
発　信　力…自分の意見をわかりやすく整理し、適切な方法・手段で伝えることができる。
傾　聴　力…内容を整理しながら聴き、わからないことは進んで質問をすることができる。
規　律　性…社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

管理栄養学科のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

管理栄養学科では、以下の5つの中の3つ以上に該当する人を求めています。
(1) 栄養学に強い関心を抱いている。
(2) 管理栄養士として「疾病治療」の分野で社会に貢献したいという意欲を持っている。
(3) 管理栄養士として「疾病予防」の分野で社会に貢献したいという意欲を持っている。
(4) 管理栄養士として「食育・食環境の整備」の分野で社会に貢献したいという意欲を持っている。
(5)「食」の専門家として、人々の日常生活を健康の面から支援したいという意欲を持っている。
そこで、次に掲げる人を積極的に受け入れます。

(A) 学力の3要素
(A-1) 基礎的・基本的な知識・技能について
家庭、生物・化学、国語、数学、英語に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。
(A-2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について
①（思考力）
日常の生活の中から食を取り巻く課題を発見し、それらの課題に対して自分の考えを持つことができる。
②（判断力）
他者の考えも尊重し、自分の考えと合わせて課題を見出すことができる。
③（表現力）
適切な表現方法を選択し、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。
(A-3) 主体的に学習に取り組む態度について
粘り強く取り組むだけでなく、自分の理解度を把握した上で、どうやったら学習の成果が現れるか試行錯誤する姿勢を持っている。
(B) 行動特性について
①（前に踏み出す力）
主　体　性…自ら成すべきことを考え、積極的に取り組むことができる。
実　行　力…自分の定めた目標に向かって粘り強く取り組むことができる。
②（考え抜く力）
課題発見力…目標を達成するために取り組まなければならない課題を見出すことができる。
創　造　力…身につけた知識・技能を最大限に発揮することができる。
③（チームで働く力）
発　信　力…自分の意見をわかりやすく整理し、適切な方法・手段で伝えることができる。
傾　聴　力…内容を整理しながら聴き、わからないことは進んで質問をすることができる。
規　律　性…社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

こどもの生活学科のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

こどもの生活学科では、以下の5つの中の3つ以上に該当する人を求めています。
(1) 子どもの生活環境に関して関心を抱いている。
(2) 保育分野の専門家として社会に貢献したいという意欲を持っている。
(3) 教育分野の専門家として社会に貢献したいという意欲を持っている。
(4) 他者との関わりを大切にし、相手の立場に立って考え、行動できる。
(5) 自身の潜在能力をさらに開発し、地域の課題解決に率先して参画したいと思っている。
そこで、次に掲げる人を積極的に受け入れます。

(A) 学力の3要素
(A-1) 基礎的・基本的な知識・技能について
家庭、国語、数学、生物・化学、地歴・公民に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身に付けている。
(A-2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について
①（思考力）
日常の生活の中から課題を発見し、それらの課題に対して自分の考えを持つことができる。
②（判断力）
他者の考えも尊重し、自分の考えと合わせて課題を見出すことができる。
③（表現力）

本学の掲げる四大精神を実践し、自己の特性を伸ばしつつ、社会に貢献したいと考えている。

(A-3) 主体的に学習に取り組む態度について

粘り強く取り組むだけでなく、自分の理解度を把握した上で、どうやったら学習の成果が現れるか試行錯誤する姿勢を持っている。

(B) 行動特性について

① (前に踏み出す力)

主　体　性…自ら成すべきことを考え、積極的に取り組むことができる。

実　行　力…自分の定めた目標に向かって粘り強く取り組むことができる。

② (考え抜く力)

課題発見力…目標を達成するために取り組まなければならない課題を見出すことができる。創造力…身につけた知識・技能を最大限に発揮することができる。

③ (チームで働く力)

発　信　力…自分の意見をわかりやすく整理し、適切な方法・手段で伝えることができる。

傾　聴　力…内容を整理しながら聴き、わからないことは進んで質問をすることができる。

規　律　性…社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

○カリキュラム・ポリシー

ライフスタイル学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

(A) カリキュラムの編成について

(A-1) カリキュラム編成の基本方針について

ライフスタイル学科のカリキュラムは、スキル・リテラシー・教養科目と専門科目から構成されます。すべての科目において、グループワークの機会を設定しています。そして、地域と連携した内容の授業科目を各年次に配置することによって、社会人基礎力・pisa型学力を育成していきます。

授業形態は、講義、演習、実験・実習の3タイプ用意しています。科目の関連性を明確化するためにカリキュラムツリーを作成しています。

スキル・リテラシー・教養科目は、社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等を学修するための科目として編成します。

スキル・リテラシー・教養科目の卒業要件は24単位以上取得することです。

専門科目は、これからの時代の新しいライフスタイルを創造しうる能力を持った生活者および衣・食・住および地域活性のエキスパートを育成するための科目として編成します。また、「中学校、高等学校の教諭（家庭）」の資格も取得可能です。

専門科目の卒業要件は83単位以上を取得することです。

(A-2) 教養教育プログラムについて

教養教育とは、社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等の基礎的・体系的な一般的知識・技能のことです。

教養教育の科目は「教養分野」「保健体育分野」「外国語分野」の3分野から編成されています。

①「教養分野」では、家政学・社会科学に関する基礎的な知識、情報に関する基礎的スキル・リテラシー、汎用的読解力を学修する。

②「保健体育分野」では、講義と実技を通して身体と健康に関する基礎的知識・技能を学修する。

③「外国語分野」では、異文化を理解する上で必要な基礎的な知識・技能を学修する。

(A-3) 専門教育プログラムについて

専門教育プログラムは、「ライフスタイル学科基幹科目群」を基軸に「デザイン（空間・情報の分野）」「食開発・マネジメントの分野」「ビジネス・地域活性の分野」の3分野で編成されています。

これらの専門科目群により、生活に関する専門的知識・技能を獲得し、それを活用しながら、自らを含む地域社会の課題を解決する方策を実践的に学修します。

①「ライフスタイル学基幹科目群」について

この科目群では、生活に対する基本的視座を涵養するためにライフスタイル学基礎講座を、生活に関する基礎的知識を獲得するために、衣・食・住の各領域の概論（衣生活論・食生活論・住生活論）を必修科目として置く。また、4年間の学修の集大成となる卒業研究もこれに含む。

②「デザイン（空間・情報の分野）」について

この分野では、身体の近接環境である衣服やインテリアおよび情報環境をデザインするために必要な知識・技能を学修する。

③「食開発・マネジメントの分野」について

この分野では、食開発に必要な食文化、食品、栄養、調理に関する知識・技能を学修する。

④「ビジネス・地域活性の分野」について

この分野では、地域の問題を収集、分析、整理して課題解決の提案をするために必要な知識・技能を学修する。

⑤ 各分野には、学修内容をより実践的に応用し、新しいライフスタイルをデザインするための素地を養うために PBL 型の科目「生活スタジオ」を置く。

(A-4) 初年次教育プログラムについて

初年次教育として「ライフスタイル学基礎講座」を配置しています。

「ライフスタイル学基礎講座」では、Quality of Life の向上を実践的に科学する態度、生活を見つめ「生きる」ことの意味を探究する姿勢を学びの根本に据え、教育目標の基盤を育成しています。

この科目では、他者との関わりを重視しながら以下の能力を育成していきます。

① 生活における他者との関わりの重要性を知る。

②「見た」・「聞いた」・「読んだ」内容を論理的に表現する力を育成する。

③ 地域社会の課題を発見し、他者と協調し、その課題解決に取り組むことができる人間となるための基礎的な力を育成する。

(A-5) キャリア教育プログラムについて

卒業後の進路を保障するために、以下の4点に焦点を当てたキャリア形成、インターンシップの実施と就職支援プログラムとして「キャリア形成特別講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「インターンシップ演習」、「インターンシップ」、「キャリアデザイン講座」を配置しています。

① 入学当初から4年後を見据えて目標設定し、どのように自身を成長させていくか計画を立て、主体的にキャリアを形成していく力を育成する。

② インターンシップを通して、仕事の現場を体験的に確認し、組織の一員としての使命感、責任感を育成する。

③ 適性検査、自己分析を行い、自分に合った進路の選択を考える能力を育成する。

④ 様々な業種・職種で活躍する社会人及び先輩の講話を聴き、自分の能力を社会貢献につなげていくための能力の適格性、開発方法、心構えなどを育成する。なお、中学校、高等学校教諭を目指す学生に対しては教職課程委員会と連携して「教員採用試験対策講座」を開設する。

(A-6) リメディアル教育プログラムについて

読解力、数的理解（計算含む）をリメディアル教育として設定しています。これらは、専門科目を学ぶための導入教育として1年次に配置しています。

(A-7) 教職課程教育プログラムについて

教育の現場で必要とする知識・技能を修得して、中学校、高等学校の教諭（家庭）免許が取得できるカリキュラムを編成しています。

授業方法は、以下の3点に焦点を当てて、講義に加え事例研究・模擬授業・集団討議を行います。

① 教育課程、指導法について学びながら、学校における教育の意義や中学校、高等学校教諭の職務内容を理解する。

② 模擬授業を通して、教育指導の実践能力を養う。

③ 教育実習を通して、指導の重要性を体験的に確認し、中学校、高等学校の教諭としての使命感、責任感を養う。

(B) カリキュラムの実施について

チームティーチング形式の授業を初年次から配置しています。複数の教員が関わることにより、ライフスタイル学科の特徴的な学修への動機づけ・学修方法の理解、社会人基礎力の必要性を理解してもらいます。また、体験型学修の核となる学生間の人間関係の形成も視野に入れて授業を行います。

① 体験型学修として PBL 型のスタジオ学修を用意する。このスタジオ学修は、学生が「無限の可能性」に挑戦する絶好の機会となる。

② スタジオ学修では、年度ごとに設定するテーマの下で、教員と学生が小グループを組織し、家政学の専門的知識・技能を活用して、創造的作業を通して考えたことを目に見える形にして提案する能力を育成する。

この学修の過程では、学生個々の潜在能力を最大限引き出していくために社会人基礎力と四大精神、pisa 型学力の発揮が必須となる。

③ スタジオ学修で見出した自分の能力を進路実現に結びつけるために、「キャリアデザイン講座」を配置する。この科目を通して、職業に対する意識と職場への適応能力、社会人としての自覚を深める。

④ クラス指導教員は定期的に学生と面談を行い、履修状況、進路希望等を確認しつつ、適切な履修指導を行う。

⑤ 学修成果の評価は、学期末テストにとどまることなく、レポートや小テストなどで定期的に理解度・習熟度の確認を行う。

⑥ ルーブリック評価等を用いて、評価の可視化を行う。ルーブリックはディプロマ・ポリシーの能力形成を評価できる評価内容とする。

(C) 資格対応について

取得可能な資格は以下のとおりです。

① 中学校教諭一種免許状（家庭）
② 高等学校教諭一種免許状（家庭）
③ 食生活アドバイザー
④ フードスペシャリスト
⑤ 商品プランナー
⑥ スポーツ・インストラクター
⑦ 商品装飾展示士3級
⑧ 社会福祉主事任用資格

管理栄養学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

(A) カリキュラムの編成について

(A-1) カリキュラム編成の基本方針について

管理栄養学科の教育課程は、スキル・リテラシー・教養科目と専門科目から構成されます。　授業形態は、講義・演習・実習の3タイプ用意しています。科目の関連性を明確化するためにカリキュラムマップを作成しています。

スキル・リテラシー・教養科目は、社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等を学修するための科目として編成します。

スキル・リテラシー・教養科目の卒業要件は24単位以上取得することです。

専門科目は、管理栄養士の資格を生かした「疾病治療・重症化予防」、「疾病予防」、「食育・食環境の整備」等、管理栄養士の資格を生かした各分野で活躍する人材の育成を目的としたカリキュラムを編成しています。また、「栄養教諭」の資格も取得可能です。

専門科目の卒業要件は83単位以上取得することです。なお、厚生労働省の定める管理栄養士養成施設であるので、法令に適合したカリキュラムとなっています。

(A-2) 教養教育プログラムについて

教養教育とは、社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等の基礎的・体系的な一般的知識・技能のことです。

教養教育の科目は「教養分野」「保健体育分野」「外国語分野」の3分野から編成されています。

①「教養分野」では、家政学・社会科学に関する基礎的な知識、情報に関する基礎的スキル・リテラシー、汎用的読解力を学修する。

②「保健体育分野」では、講義と実技を通して身体と健康に関する基礎的知識・技能を学修する。

③「外国語分野」では、異文化を理解する上で必要な基礎的な知識・技能を学修する。

(A-3) 専門教育プログラムについて

管理栄養学科の専門教育は、専門分野の基礎となるものを専門基礎分野、応用となるものを専門分野に配置し、段階的に理解できるように授業を展開します。

(専門基礎分野)

① 栄養学を学修するために必要な基礎的な専門知識を修得するために、生物学入門、化学入門、化学基礎実験を置く。

② 社会的課題としての保健・医療・福祉等についての基礎知識並びに環境因子、社会的諸制度としての衛生行政・衛生法規・地域保健対策等について理解するために、公衆衛生学に関する必修科目を置く。

③ 人体の構造や機能を体系的に理解した上で、主要疾患の成因・病態・診断、治療等について理解を深めるために、解剖生理学・生化学・臨床医学に関する必修科目とともに実験・実習科目を置く。

④ 食品の化学成分の構造・性質、物性等の基礎知識及び調理・加工による変化、栄養性・嗜好性の高い食物を調製する技術、食品表示・安全性について学修するために、食品学・調理学・食品衛生学に関する必修科目とともに実験・実習科目を置く。

(専門分野)
① 栄養の基本的概念及びその意義並びにエネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義を理解するために、基礎栄養学に関する必修科目とともに実験科目を置く。
② 各ライフステージにおける栄養状態や心身機能の特徴に基づいた栄養管理の基礎を理解するために応用栄養学に関する必修科目とともに実習科目を置く。
③ 健康・栄養状態・食行動・食環境に関する情報を収集・分析するとともに、それらの総合的評価・判定に基づく栄養教育プログラムを作成する能力を修得するために、栄養教育論に関する必修科目とともに実習科目を置く。
④ 傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて栄養管理計画の作成・実施・評価に関する総合的マネジメントの考え方を理解するために、臨床栄養学に関する必修科目とともに実習科目を置く。
⑤ 地域や職域の健康・栄養問題とそれを取り巻く諸要因を分析するとともに様々な健康・栄養状態の者に対する適切な栄養関連サービスのあり方について理解を深めるために、公衆栄養学に関する必修科目とともに実習科目を置く。
⑥ 給食運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面・安全面・経済面全般についてマネジメントを行う能力を修得するために、給食経営管理論に関する必修科目とともに実習科目を置く。
⑦ 各専門分野に関わる知識についてさらに理解を深めるとともに、管理栄養士に必要とされる知識・技能を統合して実践活動の場での課題解決能力を修得するために、「臨床総合演習」・「臨地実習」・「卒業研究」を置く。
⑧ 管理栄養士として卒業後の進路をサポートするための科目としてアップグレード分野を置く。

(A-4) 初年次教育プログラムについて
初年次教育として「管理栄養士への道」を配置しています。
「管理栄養士への道」では、管理栄養士の職業に対する理解を深め、管理栄養士の行動特性を理解し、自己のビジョンを達成する生涯学習計画を立てる授業を行います。

(A-5) キャリア教育プログラムについて
「課題解決型行動特性」及び「課題解決型学力」の修得、自己成長のためのキャリアビジョンの方向性や目標の明確化のために、「管理栄養士への道」・「基礎キャリア教育」を配置しています。
「基礎キャリア教育」では、各分野で活躍する専門家からの講話を聴く中で、自分の能力を社会貢献につなげていくための能力の適格性、開発方法、心構えなどを学び、望ましい管理栄養士の専門的行動能力（コンピテンシー）を学修し、就職につながる意識を高めます。
さらに、専門実践実習として疾病治療・重症化予防、疾病予防、食育・食環境の3分野の実習科目を設け、これまでに学修した専門的知識・技能を活用して、実践活動に結びつけます。

(A-6) リメディアル教育プログラムについて
読解力、数的理解（計算含む）をリメディアル教育として設定しています。これらは、専門科目を学ぶための導入教育として1年次に配置しています。

(A-7) 教職課程教育プログラムについて
教育の現場で必要とする知識・技能を修得して、栄養教諭免許が取得できるカリキュラム（17科目で構成）を編成しています。
授業方法は、以下の3点に焦点を当てて、講義に加え事例研究・模擬授業・グループ討議・ロールプレイング等実践的な学修方法を取り入れます。
① 学校における食育のあり方や栄養教諭の職務内容の理解等栄養教諭に必要な食育基本法や学校給食法等を学修する。
② 食育の模擬授業や肥満・やせ、食物アレルギー等栄養教諭に必要な個別指導の実践能力を育成する。
③ 小学校（中学校）の役割・組織及び栄養教諭の職務内容に関する理解を通して、栄養教諭としての使命感と責任感を育成する。

(B) カリキュラムの実施について
カリキュラムの実施については、下記の通りです。
① 各専門分野の科目においては、管理栄養士に必要な知識・技能を理解するために、講義とそれに関わる実験・実習を行う。
② 課題解決型学力（pisa 型学力）、課題解決型行動特性（社会人基礎力）を発揮する授業を実践する。
③ シラバス上に予習・復習内容及び必要な学修時間（目安）を記載し、授業の内・外での能動的な学修を促す。また、資格取得に向けての課題の提出、資格対策授業等の学修支援を行う。
④ クラス指導教員は定期的に学生と面談を行い、履修状況、進路希望等を確認しつつ、適切な履修指導を行う。
⑤ 学修成果の評価は、学期末テストにとどまることなく、レポートや小テストなどで定期的に理解度・習熟度の確認を行う。
⑥ ルーブリック評価等を用いて、評価の可視化を行う。ルーブリックはディプロマ・ポリシーの能力形成を評価できる評価内容とする。

(C) 資格対応について
取得可能な資格は以下のとおりです。
① 管理栄養士国家試験受験資格
② 栄養士免許
③ 栄養教諭一種免許状
④ 食品衛生監視員任用資格
⑤ 食品衛生管理者任用資格
⑥ 健康運動実践指導者認定試験受験資格
⑦ 商品プランナー認定試験受験資格
⑧ NR・サプリメントアドバイザー認定試験受験資格
⑨ 社会福祉主事任用資格

こどもの生活学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

(A) カリキュラムの編成について
(A-1) カリキュラム編成の基本方針について
保育士資格、幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許が取得できるように法令等に適合したカリキュラムを編成しています。
カリキュラムはスキル・リテラシー・教養科目と専門科目で編成しています。授業形態は、講義・演習・実習の3つの方法があります。また、科目の関連性を明確化するためにカリキュラムツリーを作成しています。
スキル・リテラシー・教養科目は、社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等を学修するための科目として編成します。
専門科目は、保育・教育の意義や理論を学ぶとともに、各領域や教科教育によって、保育と教育の専門性を高めるためのカリキュラム編成になっています。
スキル・リテラシー・教養科目の卒業要件は24単位以上取得することです。
専門科目の卒業要件は83単位以上を取得することです。

(A-2) 教養教育プログラムについて
教養教育とは、社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等の基礎的・体系的な一般的知識・技能のことです。
教養教育の科目は「教養分野」「保健体育分野」「外国語分野」の3分野から編成されています。
①「教養分野」では、家政学・社会科学に関する基礎的な知識、情報に関する基礎的スキル・リテラシー、汎用的読解力を学修する。
②「保健体育分野」では、講義と実技を通して身体と健康に関する基礎的知識・技能を学修する。
③「外国語分野」では、異文化を理解する上で必要な基礎的な知識・技能を学修する。

(A-3) 専門教育プログラムについて
専門教育は、こどもの生活学科の専門科目によって編成されています。
学科の軸である「コア科目」を中心に、「共通領域」、「幼保領域」、「小学校領域」、「実習（学外）領域」、「ライフ開拓領域」の6領域によって構成されています。豊かな人間性の育成とともに、資格取得に必要な専門的知識・技能の修得として、模擬授業などの実践的な体験の機会を組み入れ、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭に応じた以下の専門教育プログラムで構成されています。
① 保育士としての心構えと専門的知識・技能を身につけるために保育原理などの保育の本質・目的に関する科目や、保育の対象の理解に関する科目、保育5領域に関する科目などの、保育の内容・方法に関する科目、保育実習を必修科目として置く。
② 幼稚園教諭としての心構えと専門的知識・技能を身につけるために、領域及び保育内容の指導法に関する科目や、教育の基礎的理解に関する科目、そして道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目に加えて、教育実習を必修科目として置く。
③ 小学校教諭としての心構えと専門的知識・技能を身につけるために、教科及び教科の指導法に関する科目や、教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目に加えて、教育実習を必修科目として置く。

(A-4) 初年次教育プログラムについて
初年次教育として、「こども生活学Ⅰ・Ⅱ」、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を配置しています。
「こども生活学Ⅰ・Ⅱ」では、子どもを取り巻く現代的な問題や課題に着目し、「社会の一員としての子ども」という認識で、生活学を子どもの視点から考えます。「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」では学修の前提となる思考の方法やコミュニケーションを円滑にするための集団活動の仕方を学びます。この2つの科目を通して子どもと関わるための心構えを以下の段階で学びます。
① 建学の精神を踏まえた「学びを継続する」ための学修を行う。
② 子どもとの特性を理解し、子どもを健全に育成するための基礎的な学修を行う。
③ コミュニケーションの重要性を理解し、主体的な態度を獲得するための学修を行う。
④ グループやクラスでの活動によって他者と積極的に関われるようにするための学修を行う。
⑤ 幼稚園や小学校の見学を通し、子どもと関わるための心構えを学修する。

(A-5) キャリア教育プログラムについて
卒業後に保育士、幼稚園教諭、小学校教諭として自律して生きていくための能力を育成し、人生に必要な様々な力を修得するために、以下の2点に焦点を当てたキャリア教育を実施しています。
① 保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、教育実習（幼・小）（介護等体験実習）とその事前・事後指導を通して、保育・教育職に就くための能力と組織の中で働くための責任感や使命感を育成する。
② 保育・教育職として働く社会人や諸先輩の話を聴き、自分の適性を考え、社会に対してどのように貢献していくかを考える力を育成する。

(A-6) リメディアル教育プログラムについて
読解力、数的理解（計算含む）をリメディアル教育として設定しています。これらは、専門科目を学ぶための導入教育として1年次に配置しています。

(A-7) 教職課程教育プログラムについて
幼稚園教諭免許・小学校教諭免許を取得するための教科教育カリキュラムを編成し、教育職として活躍するための専門的知識・技能を学修します。
講義に加え事例研究や模擬授業、集団討議などを行います。
① 教育の基礎的理解に関する科目を通して、学校教育の意義、小学校教諭の職務内容を理解する。
② 幼稚園・小学校の組織・職務内容を通して、教諭としての使命感・責任感を養う。
③ 小学校の模擬授業を通して、教育指導の実践能力を養う。

(B) カリキュラムの実施について
保育士資格、幼稚園教諭免許、小学校教諭免許が取得可能なカリキュラムを編成し、教育・保育の現場で活躍するための専門的知識・技能を学修します。
カリキュラムは、社会的に自律して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養科目と保育・教育職に関する専門科目から編成されています。
すべての科目において、下記のように学生と教員による双方向的で実践的な学修を行っています。また、保育・教育現場での体験的な学びの内容を確認するためのいくつかの活動も行います。
① 学生同士、学生と教員とのコミュニケーションを重視する授業（対話型授業）を行う。
② グループワークを取り入れ、発表を重視する授業（協力・協働型授業）を行う。
③ 知的好奇心を刺激し、自ら学ぶ意志を引き出すような授業（啓発型授業）を行う。

(C) 資格対応について
取得可能な資格は以下のとおりです。
① 小学校教諭一種免許状
② 幼稚園教諭一種免許状
③ 保育士資格
④ スポーツ・インストラクター
⑤ 社会福祉主事任用資格

（様式１）

受験番号	※

※本学記入欄

愛知学泉大学

留学生調査書

Application for Admission to Aichi Gakusen University

①氏 名　Name	姓 Family Name	名 First Name
母国語 Native Language		
発音（アルファベット表記） Pronunciation		
フリガナ（日本語カタカナ）		

②国籍 Nationality		③性別　Sex	
		男 Male	女 Female

④生年月日 Date of birth	＿＿＿＿＿＿ (month) ， ＿＿＿＿＿＿ (day) ， ＿＿＿＿＿＿ (year)

⑤出身地： Place of birth	⑥結婚の有無： Marital status	□ 既婚　Married □ 未婚　Single	⑦年齢： Age

⑧母国語： Native Language	⑨他の習得言語： Other Language (s) spoken/studied

⑩本国での住所： Address	(Telephone No.　　)
⑪日本での連絡先： Name and address of the person responsible for you in Japan	〒 (Telephone No.　　)

⑫学費負担者　Person responsible for university fees

氏　名： Name in full	本人との関係： Relationship
住　所： Home Address	Tel:
職　業（勤務先）： Occupation (Company)	

※事務処理欄 For office use only	願書提出	1.本人　2.保証人　3.本人及び保証人	受付印	
	願書提出時の本人所在	1.国内　2.国外 （在留資格　：　留学　・　就学　・その他）		

⑬ 学 歴(小学校から最終学歴まで年代順に詳しく記入のこと)

	学校名(所在地) Name of School (Location of School)	修学年限 Number of Years Studied	入学年月日	卒業(修了)年月日
小 学 校 Elementary Education	( )	年		
中 学 校 Lower Secondary Education	( )	年		
高等学校	( )	年		
専科学校	( )	年		
大 学	( )	年		
大 学 院	( )	年		

※本国における大学入学資格の有無 (有 ・ 無)

⑭ 職 歴

勤 務 先	所 在 地	勤務内容	勤務期間
			＿＿＿＿ ～ ＿＿＿＿
			＿＿＿＿ ～ ＿＿＿＿

⑮ 兵 役	・終了 ＿＿＿＿＿＿ ～ ＿＿＿＿＿＿ ・終了予定 ＿＿＿＿＿＿
⑯ 家 族	現住所

氏 名	続 柄	年 齢

⑰旅券の取得

旅券の取得状況	a. 取 得 済	b. 未 取 得
旅券番号:	発行機関:	
発行日:	有効期限: 年　　月　　日	

⑱査証申請予定地等

査証申請予定地:	上陸予定地:

⑲日本への入国歴

日本での在留期間	在留資格	入国の目的
年　月　日～　年　月　日		
年　月　日～　年　月　日		
年　月　日～　年　月　日		

⑳本学卒業後の進路希望

□ 就職
□ 進学
□ 帰国
□ その他
〔　　〕

○日本語以外の言語の能力

能力 / 言語	読む力			書く力			聞く力			話す力		
	良	可	不可	良	可	不可	良	可	不可	良	可	不可
英語												
その他 (　　語)												

上記の通り相違ありません。

(日付) _____

(氏名) _____

(署名) _____ 印

（様式２）

入学志望理由書

（留学生）

受験番号	※

※本学記入欄

志望理由を日本語で記入すること。
Detail, in japanese reasons for enrollment.

氏　　名（Full Name）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

志　望　理　由

（様式３）

日本語能力認定書
PROFICIENCY IN JAPANESE

受験番号	※

※本学記入欄

志願者氏名．
Name of applicant：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

現　住　所　〒
Present address：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ Tel ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日本語講師、日本政府在外公館員または、認定書作成に適当と思われる方に記入を依頼し、厳封して提出すること。
This report should be completed by one of the fllowing : an instructor in Japanese , a diplomalic or cousular official of the Japanese government , or other qualified , person. And this document should be sealed tightly when submitted.

日本語の熟達程度
Proficiency of Japanese

	A	B	C	D
読　解　力 Reading ability	□	□	□	□
筆　記　力 Writing ability	□	□	□	□
聴　解　力 Hearing ability	□	□	□	□
会　話　力 Speaking ability	□	□	□	□

A：大学での勉学に充分な能力を持つ。
B：大学の勉学には未だ不十分だが、今後の努力によって充分な能力の向上が期待される。
C：大学の勉学には相当の努力が必要である。
D：大学での勉学は困難である。

学　習　方　法
Study Methods：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

使用テキスト
Textbooks used：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

備　　考
Remarks：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名
Full name：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属機関および職位名
Name of institution and Title：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

現　住　所　〒
Present address：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日　　付
Date：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

署　　名(印)
Signature：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Aichi Gakusen University

（様式４）

受験番号	※

※本学記入欄

誓　約　書

年　　月　　日

愛知学泉大学

学長　寺部　曉　殿

私は、貴大学に入学するにあたり貴大学の学則に従い、指示・決定事項等について違反しないことを誓約いたします。

〒

現住所

電話番号

本人氏名　　印

生年月日　　年　　月　　日

上記の者の在学中における責任は、一切私が引き受けます。

〒

現住所

電話番号

職業

入学者との続柄

保証人氏名　　印

Aichi Gakusen University

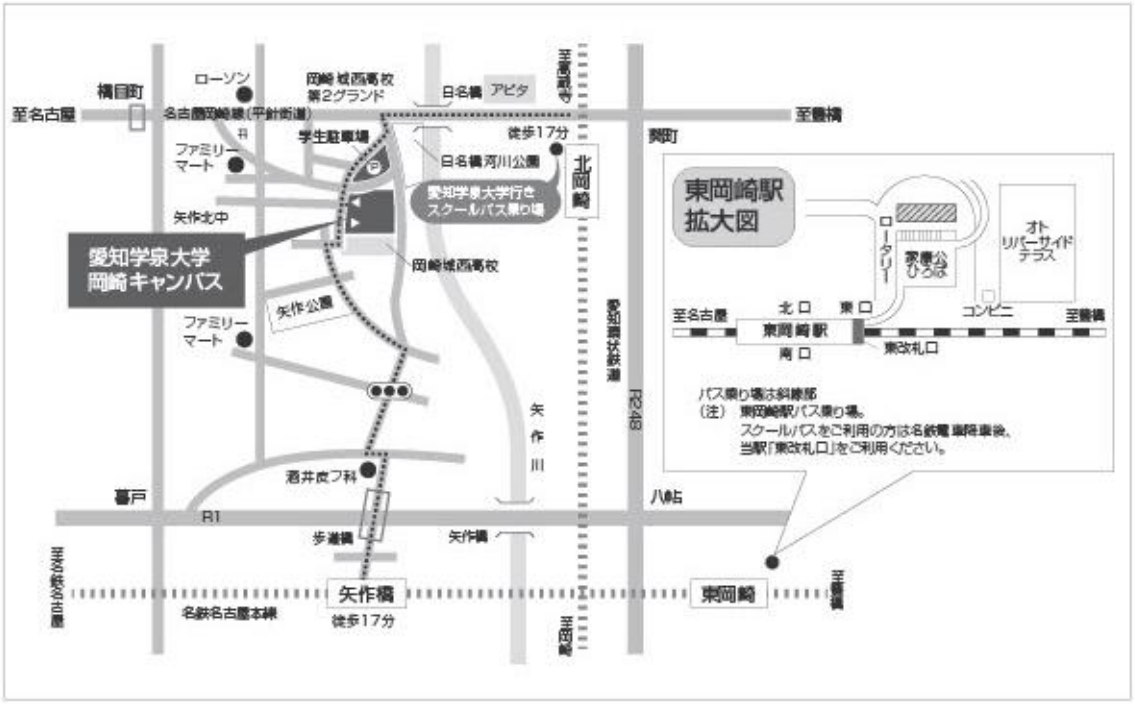
受験に関する諸注意

●試験場の開場は 9 時です。試験開始時間 10 分前までには試験室に着席してください。
●試験当日は試験時間に遅れないよう早めに来てください。
●試験室に入場した際は、受験番号に従って所定の席につき、受験票を机右上に置いてください。
　万一、受験票を忘れた場合は係員に申し出てください。
●試験当日の緊急連絡先 TEL（0564）34-1215（学生募集室）

岡崎キャンパス会場

愛知学泉大学〈岡崎キャンパス〉

愛知県岡崎市舳越町上川成28
TEL:0564-34-1212(代表)



自家用車等　学生駐車場をご利用ください。

名古屋駅から　名鉄名古屋本線「名鉄名古屋」～「東岡崎」(所要時間約30分)
駅からスクールバスで約20分
名鉄名古屋本線「名鉄名古屋」～「矢作橋」(所要時間約37分)駅から徒歩で約17分

高蔵寺方面から　愛知環状鉄道「高蔵寺」～「北岡崎」(所要時間約60分)
駅からスクールバスで約5分または徒歩で約17分

豊橋方面から　名鉄名古屋本線「豊橋」～「東岡崎」(所要時間約20分)駅からスクールバスで約20分
名鉄名古屋本線「豊橋」～「矢作橋」(所要時間約35分)駅から徒歩で約17分

バス乗り場　名鉄名古屋本線「東岡崎」駅東改札口より「家康公ひろば」方面へ。
愛知環状鉄道「北岡崎」駅　スクールバス乗り場

注意　試験当日は JR 安城駅からのスクールバスは運行しない日程もあります。必ず大学 HP で確認してください。

愛知学泉大学

入試に関する問い合わせ先：学生募集室

444-8520　愛知県岡崎市舳越町上川成28

●℡：（0564）34-1215　●Fax：（0564）34-1216